



子どもがゲームで 高額課金!



事例

- ① 日頃から、小学生の息子に母親の古いスマホを自宅のWi-Fiに繋げて使用させていた。課金には母親の指紋認証が必要な設定にしていたが、母親のアカウントにログインした状態であったため息子が自分の指紋を追加登録して約5万円ゲーム課金してしまった。
- ② 母親名義で契約し中学生の息子を利用者登録したスマホを息子に使用させていたところ、5カ月の間にキャリア決済で約5万円ゲーム課金してしまった。キャリア決済の上限額を引き下げることができるとは知らなかった。
- ③ 中学生の息子が、息子のスマホで1年前から総額約55万円をゲームに課金していた。数年前に母親がゲーム課金以外の目的で息子のスマホにクレジットカード番号を入力したことがあったが、そのクレジットカード番号で息子はゲーム課金をしたようだ。

チェック

- スマホ等にクレジットカードの情報が保存されたままになっていませんか？
- 保護者のアカウント（AppleやGoogle）にログインした状態で渡していませんか？
- 毎月クレジットやキャリア決済の利用明細を確認していますか？
- 決済完了メールが届くように設定し、必ず確認していますか？
- キャリア決済の上限額を適切な金額に設定していますか？
- ペアレンタルコントロール機能の設定をしていますか？



注意

未成年者が親権者等の同意を得ないで行った契約の場合、「未成年者契約の取消」を求めることになりますが、事実関係の証明が難しいことや、クレジットカードやスマホ所有者である大人の管理責任が問われることがあり、必ずしも返金されるとは限りません。